※文字の大きさは Meiryo UI /12 ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。

※具体的に示したい図、写真、表、グラフなどは、(写真 1)(表 1)などと文中に記載し、右ページに(写真 1)(表 1)などと表記の上、貼り付けてください。

※文章と図等を組み合わせながら作成することも可能です。各項目の枠の上下幅は変更可能です。

※いずれの場合も、必ず A 3 片面 1 枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは 5 MB 以下としてください。

部門名:校内研修プログラム開発・ 実践部門

エントリー名: 大阪教育大学附属池田小学校

活動名: 附属池田小研究授業公開 現職教員と OB が高め合える場

解決すべき課題:

附属校であるため、全国の教員に発信し、自己の実践に対しフィードバッグを得る機会がある。しかし、附属校は、各自治体との契約上、9割の教員が5年を目途に転勤してしまうことでの課題がある。本校に所属している間に授業実践を重ねた先輩教員(以下:OB)と対話できる時間・機会の少なさである。各教員が任期を終えると、それぞれの所属していた自治体へと戻るので、本校からの転勤後にOBと勤務上で話ができる機会は極めて少ない。現状では、休日に自主的に勉強会を開き、お互いの実践を紹介し合って研鑽に励んでいる。OB側からしても、これまで同様に自己の研究を進めていても、実践を発信する場にいないことから、自己の実践に対するフィードバッグを得る機会が無く、もどかしさを感じている。

目標·方針:

「今求められるよい授業」をテーマとした授業研究を通して、附属池田小学校の現職教員と OB が授業づくりに 切磋琢磨するとともに、お互いの交流を深めながら授業の実践力を高め合えるようにする。

活動内容:

- ①どのような公開授業とするのかを校内全体で共有
- ② O B に研究授業公開、とごころ会(5年以内の OB と現職教員でつくる組織)の意義を発信(②以降、O Bも可能な限りで参加)
- ③授業者を募集(現職教員、0 Bから授業者を募集し、④のプレゼンテーション等で授業者を決定)
- ④当日に向けての準備(授業のプレゼンテーション&検討、教材研究、教科ごとの授業検討会)
- お互いのこれまでの経験や実践を語りながら、各授業案の良い点、改善点を伝え、授業づくりを共に行う。
- ⑤研究授業公開当日(現職教員、0 B共に授業公開、お互いの授業の参観、分科会への参加)
- ⑥反省会(授業者ごとにふりかえりをまとめる、意見交流親睦会)

活動の成果: ※課題設定に対して、どんな影響、変化あったか、参加者の声など客観的な情報・データとともに記入して下さい。

- ・本校の授業や教師が授業研鑽している様子を一般の保護者に公開できる。(資料1)
- ・本校の実践を全国の教育関係者に発信することができる。(資料1)
- ・現職教員、OB共にお互いの意見を踏まえて、授業をつくることができた。
- ・研究授業公開は、令和元年度で 5 度目になるが、O B が必ず授業者に立候補し、公開授業をしている。
- ・OBが転勤後も本校に貢献している姿を見せることにより、「転勤後、自分も・・・」という良い意識が現職教員に生まれる。(資料2)

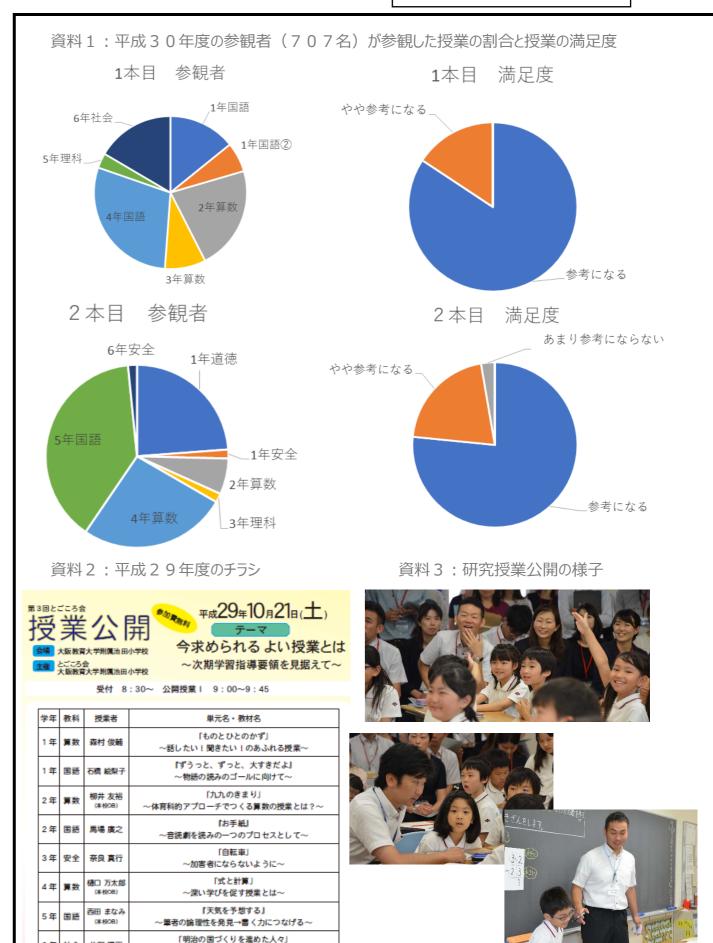
アピールポイント (アイディアや工夫): ※3~5つ程度、 箇条書きしてください

- ・授業づくりを共に行うことで、現場教員とOBが自然と授業力向上に繋がる交流をすることができる。
- ・現職教員とOBが交流することは、各教員の授業力の向上だけでなく、本校と他校や他の自治体とを比較する機会となり、さまざまな教育活動の情報を得られ、課題を共有することで本校の発展に繋がる。
- ・児童の立場から考えても、転勤した OB と授業ができることに喜びを感じている。(資料3)
- ・保護者は、教師が研鑚している様子を見る機会が少ない。保護者アンケートから「教師が日々、研鑚している 様子を見ることができ良かった。」という意見があった。

※事務局記入欄

【様式2】

No. D-20



6年 社会 佐野陽平

~社会的な見方・考え方を育む授業~